

報道関係者 各位

令和3年11月10日



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

第6回「介護福祉のみらい」作文コンクール 最優秀賞は高嶋晶さん（福井県・高校1年）が受賞

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、このほど、第6回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的に、令和3年6月1日から9月6日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数621編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行った結果、別紙のとおり入選作品が選出されたので発表いたします。

受賞者には本会より賞状を贈呈いたします。

黒澤貞夫 審査委員長のことば

全国の中・高校生の皆さん、この度は作文をお寄せいただき誠にありがとうございました。講評として、特に良かった点を三つ挙げたいと思います。

一つ目は、家族との思い出から介護福祉に関わるようになったことをまとめている点です。曾祖父、曾祖母、祖父、祖母の介護を通したさまざまな経験をベースにして、いま学んでいる介護福祉と結び付けて、とてもよい文章を書いていました。

二つ目は、実習についての経験をまとめている点です。実習というのは、初めての实習でも数回重ねての実習でもとても大変なものです。まったく知らない世界に、経験のない皆さんが飛び込むわけですから、ストレスやさまざまな印象を持つことはよくわかります。しかし、そのストレスや印象、経験を皆さんはとても上手に作文に活かしていました。

三つ目は、学校生活や社会生活のなかで感じたこと、考えたことをよくまとめている点です。特に学校の勉強のほかに社会問題や高齢者の介護の問題など、さまざまな問題に関心を持って表現している作文がたくさんありました。これは皆さんが広い視野で社会問題や生活の問題を見つめているということであり、そのことが皆さんにとってすばらしい財産になっていると思いました。

総じて、皆さんの文章はとてもよくまとめてあり、よく表現ができています。このことから、皆さんの将来は光り輝くものであると感じています。

最後に、今回すべての人に賞を差し上げたいところですが、いくつかの作品を選びました。しかし、くれぐれも申し上げたいことは、すべての人にエールを送りたいということです。

ぜひこれからも頑張ってくださいと思います。

【第6回「介護福祉のみらい」作文コンクール 受賞者】

○最優秀賞 作品名「介護や福祉に関する実体験を通して感じたこと」

たかしま あきら
高嶋 晶さん（学校法人福井精華学園 啓新高等学校 1年）

○優秀賞 作品名「これからの介護や福祉に関する私の意見」

おがさわら ゆあ
小笠原 揺逢さん（栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科2年）

○優秀賞 作品名「実習で学んだこと」

まつもと かなた
松本 蒼空さん（学校法人平松学園 大分東明高等学校 1年）

○佳作 作品名「これからの介護や福祉に関する私の意見」

こたけ きり
小竹 希璃さん（浜松修学舎高等学校 1年）

○佳作 作品名「福祉に対する思い」

はせがわ まな
長谷川 愛奈さん（浜松修学舎高等学校 2年）

○佳作 作品名「曾祖父との思い出」

もりおか りあ
盛岡 莉朱さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科3年）

○佳作 作品名「実習生だったから」

もり いちか
森 一佳さん（学校法人平松学園 大分東明高等学校 2年）

○佳作 作品名「認知症ときっかけ」

いまたに みずき
今谷 瑞希さん（学校法人平松学園 大分東明高等学校 3年）

○佳作 作品名「介護や福祉に関する実体験を通して感じたこと、考えたこと」

おおじ ゆうき
大司 悠貴さん（大分県立佐伯豊南高等学校 福祉科2年）

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

事務局（担当：山口）

TEL：03-3553-2896 FAX：03-3553-2897 Mail:info@nkfk.jp